

平成29年度 実施計画

会計室

会計室

## 会計室

## 会計室

### 1. 課の目的

公金の安全確実かつ有利な管理及び保管を行うとともに、会計事務（審査・出納）の適正な執行と効率化に努める。

### 2. 課の所掌する施策

会計事務の執行

### 3. 課の現状と取り巻く環境変化

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務の内容、処理方法等について熟知する職員に限られることで、職員間での事務応援等に支障をきたすことがある。</li> <li>・法令等の解釈により、事務処理等の対応に差異が生じる可能性がある。</li> <li>・出納事務において、その処理量が大量であるがためのミスが生じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の職員が対応できるよう、マニュアル化を推進する。</li> <li>・法令解釈や判断に迷う場合は、室において相談し、指針等の共有を図る。また、北河内7市で構成する河北会計事務連絡会において情報交換を図る。</li> <li>・財務会計システムや計算ソフトの活用により、ミスを軽減させ、効率化を図る。</li> </ul>

### 4. 課の組織力強化のための取り組み

取り組み項目	今年度の目標	昨年度の実施状況
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	朝礼を実施するとともに、事務の遂行に必要、有益な情報を得た際には、打合せ等で提供して共有化を図る。	朝礼を実施。情報を得た際には、室全体で共有化を図っている。
庁内他部署との連携や協力体制	提出書類の適正化や支払スケジュール等の周知に努め、適正な公金支出に努める。	他部署の支出事務上の実情を勘察し、添付書類の簡素化や、指定金融機関と調整して臨時の支払日を設ける等の対応を図った。
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	専門性の高い事務について、複数名が対応できるよう体制を充実する。	各人が所管、執行している事務について、マニュアル化を進めている。

所管部等名	会計室
-------	-----

<b>施策名称</b>		会計事務の執行
<b>施策目的</b>		法令等に基づいた手続き、審査の上、適正な公金支出入を行う。
<b>今年度の重点目標</b>		適切なスケジュール設定の下での適正かつ正確な公金の支出入を行う。
指針・法令等	”かたのサイズ” を目指す像	市民も事業者も楽しく汗をかいている。 公共の施設の窓口が便利でわかりやすく親切である。
	関連法令	地方自治法
	関連条例	交野市財務規則
	関連計画	
	要綱等	
	業務マニュアル	
	ネットワーク	金融機関、河北会計事務連絡会

事業 1	名称	会計事務		年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	出納、審査、決算事務を適正かつ効率的に行う。		活動指標	—	—	—
国府補助金	無し		予算・決算額	39,998千円	42,763千円	34,376千円	
位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		A:改善・効率化	A:改善・効率化